

SKY コーナー

「関西ブロックSKYフォーラム2023」開催

—「きっちり工事運動」の向上を目指して—

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

2023年10月6日、関西支部による「関西ブロックSKYフォーラム2023」を大阪市の建設交流館で開催しました。本フォーラムは会員各社が日常業務の中で安全性・効率性を目指し積極的に実施している「SKY運動」の成果を発表し、啓発・水平展開を図ることを目的としています。今回は35回目の開催で新型コロナウイルスの5類移行に伴う規制緩和により、4年ぶりに集合形式とし、会場にはNTTグループ幹部の皆様、会員各社から総勢約100名の参加者が来場し、リアルとオンデマンドでの映像配信も行うハイブリット方式で実施しました。

開会にあたり、情報通信エンジニアリング協会 戸谷関西支部長（写真1）から「今回は久しぶりにリアルで行うSKYフォーラムです。通信建設業界としては、効率性や生産性を高めて利益を出すことが重要です。ところが、利益の追求だけに目

が行き過ぎると安全とのバランスが壊れ、悲惨な事故を起こしてしまうというおそれがあります。安全第一でさらに創意工夫やいろいろな知恵を出して信頼性の高い設備づくりをしていこうということで、昭和63年からSKYフォーラムが始まりました。当時は非常に熱気のある大会であったと記憶しています。私どもの会社の社史をひも解くと昭和60年代にはSKYフォーラムの記録が何ページにも書かれており、当時の熱気が鮮やかによみがえってきます。

現在はFTTHも日本全国に行き渡り、当時のような設備構築の熱気は落ち着いていますが、保全分野などでは、我々が取り組むべき課題はたくさんあり、これらを安全と両立させながらどのように進めていくのかが大きな課題だと思っています。

本日はITEA会員各社とNTTフィールドテクノ様から施策の発表があります。優良施策はぜひ共有していきたいと思います。NTT幹部

の方々にもお越しいただいておりますので、NTT様と通建会社の相互理解が進んで、NTT様と私どもがさらに発展していくことを祈念しております」との挨拶がありました。

続いてNTT西日本 関西支店 佐尾設備部長様（写真2）から、「本日は関西ブロックSKYフォーラム2023が盛大に行われることにお喜びを申し上げます。また、私たちをお招きいただきましたことに深く感謝申し上げます。平素は弊社の電気通信事業につきまして多大なるご理解とご協力を賜りありがとうございます。

最初に今年も台風で通信設備の被害があった話からさせていただきます。台風6号により鹿児島、沖縄を中心に通信設備は大きな影響を受け、8月中旬には故障申告が9,300件にのぼり、通常時の約10倍の申告件数です。大規模な被害となったところですが、本日お集まりの皆様をはじめ、関西ブロックから総勢200班ものご支援をしていただきました。その期間は8月中旬から9月22日まで約1カ月で本当に長い間ありがとうございました。

その甲斐があって9月21日によりやく沖縄は通常時に戻ることができ、皆様の力を合わせて故障を解消できました。感謝申し上げます。

また、台風7号につきましても関西を直撃しました。お盆のさなかで



写真1 ITEA・関西支部
戸谷支部長 開会挨拶



写真2 NTT西日本 関西支店
佐尾設備部長様 来賓ご挨拶

ありましたが、特に京都府北部、兵庫県北部の通信設備の被害がありました。

関西に残って設備を守っていただいた方々もたくさんいらっしゃいます。重ねてお礼を申し上げます。

さて、2023年度も上期が終わり、10月に入りました。10月28日はG7サミット貿易大臣会合が大阪府堺市で開催される予定です。この時大阪府下全域において、特別保守体制となり、私どもの責務は安定的な通信を提供し続けていくことです。本日本お集まりの皆様とともに、この国際会議をしっかり支えていきたいと思えます。どうか皆様にはご協力をよろしく申し上げます。また、将来に向けて2025年の大阪・関西万博があります。現在、基盤工事を進めているところで、ようやくパビリオン内にどういう通信サービスを提供するか、どのくらいの規模かというところ

が具体化されてきました。

一大国家プロジェクトですので皆様と一緒に通信の分野を支えていきましょう。お力添えをよろしく願います。

今後、大きなイベントを控えていますが、ベースとなるのが皆様の健康と安全だと思っております。健康につきましては、今年の夏は1898年の統計開始以来、最も暑い夏になったということで皆様にご苦勞をかけたのではないかと思います。最近秋の気配を感じるようになってきましたが、体調に関しては気をつけていただくようお願いいたします。また、コロナに関しては第5類になったものの、最近のニュースでは第9波とかインフルエンザとの同時流行の兆しという話を聞きます。引き続き皆様におかれましては感染予防対策を徹底していただければと思います。

安全につきましては、NTT西日本管内において、昨日現在で人身事故は6件起こっております。関西ブロックは1件ですが、これらの事故に関して、再発防止の取組みをもう一度振り返り、基本動作およびルール徹底をみなさんと気持ちを合わせて下期に取り組んでいきたいと思えます。

関西ブロックSKYフォーラム2023は安全性と効率性に関して、日頃取り組んでおられる施策の啓発を目指し、今日発表されるとうかがっています。私どもも皆様の発表を聞き、持ち帰って参考にさせていただきたいと思えます。

最後になりますが、情報通信エンジニアリング協会様および通信建設会社各社様のますますのご発展を祈念いたします」とのご挨拶をいただいた後、本フォーラムが開会されました。

SKY提案表彰

表1 2022年度各社別評価件数 (単位：ポイント)

ミライト・ワン	エクシオグループ	日本電通	日本コムシス	合計
7.7	2.6	1.3	0	11.6

【算出方法】

- ① 2022年4月から2023年3月末 までの提案件数
- ② 2023年8月末 (今回) までのNTT西日本様による回答・評価ポイント

表1の評価基準に基づき、年間最も評価ポイントを獲得した会社に対して「年間提案優良会社表彰」を行いました。集計結果により、評価件数が7.7ポイント (①提案件数：4件、②回答・評価：3.7ポイント) の(株)ミライト・ワンが表彰され、戸谷支部長より感謝状と記念品が授与されました (表1・写真3)。



写真3 SKY提案表彰
(株)ミライト・ワン

安全運動表彰

当支部安全パトロールにおいて、安全の鉄則を遵守するとともに、安全に対する取組活動が他の模範となり、極めて優れているとしてエクシオグループ(株)所属の朝長通信(株) 新居 基則班に戸谷支部長より表彰状と記念品が授与されました (写真4)。



写真4 安全運動表彰
朝長通信(株) 新居 基則班

SKY提案発表

各社でのSKY活動として最も優秀であったものについて、1テーマを選出し発表を行うとともに、NTT西日本グループ様代表としてNTTフィールドテクノ京都設備部様、兵庫設備部様からも発表を行っていただきました（写真5～10・表2）。

今回の取組みは、女性目線による職場環境改善が必要なオンサイト分野等への女性躍進を目的としたSHINING活動の一環として、NTTフィールドテクノ京都設備部様、兵庫設備部様から『マンホール用昇降具（移動はしご）の検討について』というテーマで発表していただきました。

テーマは、マンホール入出孔時の安全対策が不十分という現状を踏まえ選定されました。

マンホール入出孔時の鉄はしごからの転落の原因を調査した結果、ステップや鉄はしごの不良または未設置のマンホールの場合、昇降時の安全が確保されず事故につながる危険性が高まることが判明し、鉄はしご不良や未設置マンホールに対して、市販品を改良したマンホール用昇降具（移動はしご）を作成され、トライアル導入結果に基づく改良を加え、今後本格導入に向けてさらなる改善に取り組まれます。

その他の発表につきましても、新技術を用いた効率化の改善、市販品活用による安全性向上など、素晴らしい内容で施策の水平展開や今後の積極的なSKY活動への刺激にもなりました。

おわりに

発表終了後、戸谷支部長より発表各社の代表者に記念品が贈呈され



写真5 司会
エクシオグループ(株) 田中 智志さん



写真6 発表模様 1

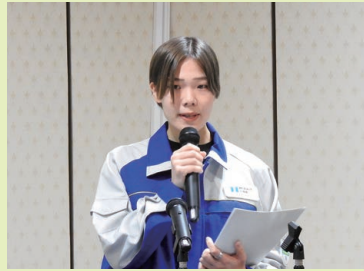


写真7 発表模様 2



写真8 発表模様 3



写真9 発表模様 4



写真10 発表模様 5

表2 発表テーマ一覧

発表テーマ	発表会社	発表者
1. エクシオグループ(株)・ネットワーク部門における～“安全施策”の展開・作業性の向上による効率化事例～	エクシオグループ(株)	荻野 勝二
2. リモート・オンサイト間コミュニケーション環境改善に向けた「WiFiトランシーバ」の制作	(株)ミライト・ワン	古賀 汐美
3. 電源線撤去（Fuse抜去）作業の改善	日本コムシス(株)	福村 誠人
4. 安全で効率的な掘削を目指して	日本電通(株)	井上 雅人
5. マンホール用昇降具（移動はしご）の検討について	NTTフィールドテクノ(株)	酒井 麻佑様 津高 真帆様

（写真11）、(株)ミライト・ワン 井上 零士リーダーの発声で関西支部の安全スローガン「まず安全 工夫を活かそう 知恵と技 ヨシ!!!」を全員で唱和（写真12）した後、

主催者を代表してITEA 十亀西日本事務所長から「本日は会場にお集まりの皆様、そしてリモートでご参加の皆様、本当に沢山の皆様にご参加いただきありがとうございます。

また、NTT西日本グループの皆様、関西支部通建各社の皆様、そして本日開催にあたり準備をいただきましたスタッフの皆様、関係者の皆様に御礼を申し上げます。

このSKYフォーラムは大きくは2部構成で実施させていただきました。1部は表彰、2部が優良事例の発表です。

表彰につきましては、VE提案の表彰で最近VE提案はやや減少傾向ですが、その中で優秀な提案が最も多くあったミライト・ワンの皆様おめでとうございます。

最優秀安全作業班はエクシオグループ所属、朝長通信社の新居班の皆様、受賞おめでとうございます。この安全作業班に関しては、年間を通じて安全パトロールを行っており、合計241班の作業を見た中の第1位が新居班であり、貴重で模範となる表彰だったと思います。他にも優秀な班は沢山いらっしゃいます。是非この優秀班が増えることを祈念します。

2部の方はSKY提案発表で5件の発表がございました。その内3件が所内系の発表、2件が基盤系の発表でした。最初の3件については、

時代に合った新しい技術を用いた改善でした。

オンサイト作業でのコミュニケーションをどう図るかということで、Wi-Fiやインカムを用いるということが主流になってきたと思いました。

また、電源の改善につきましても、危険性を理解して安全を考えるというのが非常に大きなポイントだったと思います。通信設備の電源が切れると大きな事故につながりますので、大きな価値のある改善だったと思います。

基盤系につきましては6月にあった設備事故を基に改善されましたが、石を持ち上げる作業というのは昔からあるのにツール化できなかった。そのツールを考え改善したというところに大きな価値があったと思います。

最後のSHINING活動によって移動梯子を改善されました。これは私も作業経験があり何の違和感もなく梯子を昇降していましたが、女性目線では違和感や改善につながる気付きを感じられた。これも働き方改革によって女性がオンサイト分野に従事する時代になったからで、今後もマンホール作業だけでなく宅内、ア

クセス、所内の作業におきましてもKAIZEN目線で魅力ある作業場にしていきたいと思っています。

最後になりますが、このSKY活動は37年目に入ります。当時はメタル設備しかない時代に始まりましたが、その後光化や無線技術、ROやDP化、女性が活躍する現場など、環境が大きく変わると思います。そういった意味で次の1年間もいろいろな提案をいただきたいと思います。今日は発表された皆様、参加された皆様お疲れ様でした」との挨拶があり閉会しました(写真13)。

今回の大会は、建設交流館での参加者約100名とリモート接続約150カ所からの参加で無事終了することができました(表3)。

視聴者アンケートでは、今回の集合形式とリモート配信のハイブリッド開催に関して、大変良かったという声が多数あり、集合形式には「関係者と交流が図れた」、「雰囲気伝わり良かった」とのご意見があり、リモート配信には「時間が有効に使えた」、「音声・画面とも視聴しやすかった」、「一部声が聞こえにくい部分があった」とのご意見もいただき、今後の新たなスタイルに向けて検討していくことといたします。

大変お忙しい中、本大会にご臨席いただきましたご来賓の皆様へ感謝申し上げますとともに、大会諸準備、運営にご協力いただきました関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。

表3 大会概要

大会日時	2023年10月6日 9:30~11:10	
開催場所	建設交流館(大阪市) + 各拠点リモート接続	
参加者	・NTTグループ各社様 ・通建各社(グループ会社含む)	建設交流館: 約100名 リモート接続: 約150拠点



写真11
戸谷支部長と発表者の皆様



写真12 スローガン唱和
(株)ミライト・ワン 井上 零士さん



写真13
ITA 十亀西日本事務所長の閉会挨拶